

香川県環境基本計画等について

1	香川県環境基本計画	1
2	香川県地球温暖化対策推進計画	7
3	香川県廃棄物処理計画	11
4	香川県みどりの基本計画	15
5	(参考) 指標の評価方法について	20

香川県環境基本計画

概 要

香川県環境基本計画の概要

1 基本的事項

(1) 計画策定の趣旨

- 香川県環境基本条例に定める基本理念のもと、同条例第9条に基づき、本県の環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するもの。

(2) 計画の位置づけ・性格

- 環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進する基本計画
- 「香川県総合計画」の環境に関する分野別計画
- 本計画は、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第8条に基づく環境教育等の推進に関する行動計画として、また、生物多様性基本法第13条に基づく「生物多様性地域戦略」として位置付ける。

(3) 計画の期間

- 令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(4) 計画の対象範囲

- 環境全般
 - ※ 緑化の推進とみどりの保全を総合的かつ計画的に推進するものは、「香川県みどりの基本計画」で取り扱う。

(5) 基本的な考え方

- 複雑・多様化する環境の課題に、県民をはじめ地域が一体となって取り組むことが必要であるため、これまでの「人づくり」の取組みが地域に根差したものとなるよう、「地域づくり」にも重点的に取り組む。
- 環境基本計画に掲げる施策を実施することで、本県の環境課題の解決を図るとともに、SDGsの目標達成にも貢献していく。
- 将来的に環境と成長の好循環が実現する社会をめざしていくため、新しい生活様式への移行の中で大きく変容しつつある人々の働き方やライフスタイルも踏まえ、環境保全施策に、より積極的に取り組む。

2 環境の将来像と環境分野ごとの基本目標

(1) 環境の将来像

「県民みんなでつくる 人と自然が共生する持続可能な香川」

(2) 環境分野ごとの基本目標

- 各分野にまたがる基盤整備・地域づくりと4つの環境分野の基本目標を設定し、施策を展開

分 野	基 本 目 標
各分野にまたがる 基盤整備・地域づくり	環境を守り育てる地域づくりの推進
地球環境分野	脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全
資源循環分野	環境への負荷を低減させる持続可能な循環型社会の形成
自然環境分野	自然に親しみ、自然とともに生きる地域づくりの推進
生活環境分野	安全で安心して暮らせる生活環境の保全

3 施策体系

基本目標	施策区分	施策展開
大項目	中項目	小項目
【各分野にまたがる 基盤整備・地域づくり】 1 環境を守り育てる地域づくりの推進	1-1 持続可能で環境と調和した地域づくりの推進	1-1-1 県民・事業者・民間団体の自主的取組みの促進
		1-1-2 あらゆる主体との連携・協働による取組みの推進
	1-2 環境教育・環境学習の充実	1-2-1 幅広い場における環境教育・環境学習の推進
		1-2-2 環境学習のきっかけづくりの推進
	1-3 県民参加の山・川・里（まち）・海の環境保全	1-3-1 みどりづくりの推進
		1-3-2 里海づくりの推進
	1-4 うるおいのある快適な地域づくり	1-4-1 景観、自然に配慮した快適な環境の整備
		1-4-2 歴史的・文化的環境の保全と活用
		1-4-3 適正な土地利用の調整
	【地球環境分野】 2 脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全	2-1 地球温暖化の防止を図るための対策（緩和策）
2-1-2 再生可能エネルギー等の導入促進		
2-1-3 森林整備と都市緑化の推進		
2-1-4 CO ₂ 以外の温室効果ガス対策の推進		
2-2 地球温暖化による被害を回避・軽減するための対策（適応策）		2-2-1 気候変動適応センターの機能充実
		2-2-2 気候変動に適応した対策の推進
【資源循環分野】 3 環境への負荷を低減させる持続可能な循環型社会の形成	3-1 循環型社会づくりの推進	3-1-1 2R（リデュース、リユース）の推進
		3-1-2 リサイクルの推進
	3-2 廃棄物の適正処理の推進	3-2-1 廃棄物の適正処理の推進
		3-2-2 災害廃棄物処理体制の充実・強化
	3-3 水循環の促進	3-3-1 水を大切にす社会への転換
【自然環境分野】 4 自然に親しみ、自然とともに生きる地域づくりの推進	4-1 生物多様性の保全	4-1-1 生物多様性の保全に向けた取組みの推進
		4-1-2 希少野生生物の保護
		4-1-3 野生鳥獣の保護管理
	4-2 有害鳥獣対策と外来種対策の推進	4-2-1 有害鳥獣対策の強化
		4-2-2 特定外来生物の防除
		4-2-3 外来種対策の推進と普及啓発
	4-3 農地等の保全と持続的活用	4-3-1 農地等の保全と持続的活用
【生活環境分野】 5 安全で安心して暮らせる生活環境の保全	5-1 大気環境の保全	5-1-1 監視の実施及び県民への情報提供
		5-1-2 大気汚染物質の発生源対策等の推進
	5-2 水環境、土壌・地盤環境の保全	5-2-1 監視の実施及び県民への情報提供
		5-2-2 水質汚濁発生源対策の推進
		5-2-3 水環境の保全対策の推進
		5-2-4 土壌・地盤環境の保全対策の推進
	5-3 騒音・振動・悪臭・化学物質対策等の推進	5-3-1 騒音・振動・悪臭防止対策の推進
		5-3-2 化学物質対策等の推進

環境基本計画に掲げる環境指標【数値目標】一覧

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
環境を守り育てる地域づくりの推進	大項目①	県と連携した市町・事業者・民間団体数	団体	69	90	94	A
	大項目②	環境保全活動や環境学習講座等への参加状況(県政モニターアンケートで「環境保全活動」や「環境学習」に「参加した」と回答した人の割合)	%	29.4 (R3.6 現在)	35.9 (R6.6 現在)	40.0	A
	1-1-1	エコアクション21登録件数	件	76	72	90	D
	1-1-2	県と連携した市町・事業者・民間団体数【再掲】	団体	69	90	94	A
	1-2-1	県が実施する環境教育・環境学習参加者数(累計)	人	112,575 (H28~R2 累計)	55,216 (R3~R5 累計)	125,000 (R3~R7 累計)	B
	1-2-2	県が開設している環境分野のSNSのフォロワー数	人	1,518	3,478	2,000	A
	1-3-1	県民参加の森づくり参加者数(累計)	人	40,906 (H28~R2 累計)	21,314 (R3~R5 累計)	45,000 (R3~R7 累計)	B
	1-3-2	かがわ里海大学修了者数(累計)	人	2,308 (H28~R2 累計)	1,675 (R3~R5 累計)	3,000 (R3~R7 累計)	B
	1-4-1	公園・緑地面積 ※都市公園や港湾緑地、森林公園を合わせたもの	ha	1,838 (R 元)	1,845 (R4)	1,856 (R6)	B
	1-4-2	国県指定の文化財数(累計)	件	14 (H28~R2 累計)	4 (R3~R5 累計)	15 (R3~R7 累計)	C
脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全	大項目③	温室効果ガス削減率	%	▲15.8 (H29)	▲28.4 (R3)	▲33	A
	大項目④	「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度(県政モニターアンケートで「脱炭素」や「地球温暖化」を意識し行動している」と回答した人の割合)	%	75.6 (R3.6 現在)	65.9 (R6.6 現在)	90.0	D
	2-1-1	最終エネルギー消費量削減率	%	▲7.4 (H29)	▲21.2 (R3)	▲8.0	A
	2-1-2	太陽光発電システム設置容量	kW	821,728	923,861 (R5.12)	1,240,000	C
	2-1-3	森林整備面積(累計)	ha	4,536 (H28~R2 累計)	2,508 (R3~R5 累計)	5,000 (R3~R7 累計)	B
	2-2-1	県内の気候変動影響に関する情報提供件数	件	0	6	10	A
	2-2-2	県が実施する適応策の件数	件	7	8	10	B
環境への負荷を低減させる持続可能な循環型社会の形成	大項目⑤	一般廃棄物の最終処分量	万 t	3.1 (R 元)	2.6 (R4)	2.6	A
	大項目⑥	産業廃棄物の最終処分量	万 t	17.2 (R 元)	13.8 (R4)	16.1	A
	大項目⑦	3Rの推進に積極的に取り組んでいると答えた人の割合(県政モニターアンケートで4つ以上の項目に「取り組んでいる」と回答した人の割合)	%	47.9 (R3.6 現在)	33.9 (R6.6 現在)	56.0	D
	3-1-1	一般廃棄物(し尿を除く)の総排出量	万 t	31.2 (R 元)	29.5 (R4)	28.0	B
	3-1-1	一般廃棄物(し尿を除く)の一人一日当たり排出量	g	868 (R 元)	844 (R4)	810	B

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
	3-1-1	産業廃棄物の総排出量	万 t	244.9 (R 元)	249.3 (R4)	244.0	D
	3-1-2	一般廃棄物のリサイクル率	%	18.2 (R 元)	19.3 (R4)	24.0	C
	3-1-2	産業廃棄物のリサイクル率	%	71.0 (R 元)	71.4 (R4)	72.5	C
	3-2-1	廃棄物不適正処理苦情件数	件	124	317	減少	D
	3-2-2	災害廃棄物処理計画に風水害対策を加える見直しをした市町数	市町	0	2	全市町	C
	3-3-1	普段の生活で節水している人の割合 (水資源確保対策意識調査において普段の生活で「節水している」、「どちらかといえば節水している」と回答した人の割合)	%	80.6 (R 元)	80.6 (R4)	84.0 以上	D
自然に親しみ、自然とともに生きる地域づくりの推進	大項目⑧	生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数	団体	0	11	15	A
	大項目⑨	生物多様性に関する県民の認知度(県政モニターアンケートで「生物多様性」を「知っている」と回答した人の割合)	%	37.2 (R3.6 現在)	37.8 (R6.6 現在)	50.0	C
	4-1-1	生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数【再掲】	団体	0	11	15	A
	4-1-2	香川県希少野生生物の保護に関する条例に基づく指定希少野生生物の指定種数	種	16	16	20	D
	4-1-3	愛鳥週間ポスター原画コンクール参加学校数	校	48	55	53	A
	4-2-1	イノシシの年間捕獲頭数	頭	12,583 (H28~R2 平均)	9,095	12,000	A
	4-2-2	アライグマ・ヌートリアの年間防除頭数	頭	417 (H28~R2 平均)	370	400	A
	4-2-3	地域が主体となって外来種対策に取り組む市町数	市町	0	12	全市町	A
	4-3-1	協働活動による多面的機能の維持発揮を行う農用地面積	ha	14,280	15,337	15,000	A
安全で安心して暮らせる生活環境の保全	大項目⑩	各小項目の達成度(A評価の項目数)	項目	2 (R 元)	4	8	B
	大項目⑪	生活環境の向上(大気・水・騒音の満足度)(県政モニターアンケートで「現在の生活環境」に「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合)	%	52.6 (R3.6 現在)	58.8 (R6.6 現在)	58.0	A
	5-1-1	大気に係る環境基準の達成度合【全4項目】	%	100 (R 元)	100 (R4)	100	A
	5-1-2	光化学オキシダント注意報・警報の発令回数	回	0	0	0	A
	5-2-1	公共用水域に係る環境基準の達成率【健康項目(27項目)】【生活環境項目】 河川 BOD 海域 COD	%	100 (R 元)	100 (R4)	100	A
				74 (H27~R 元平均)	60 (R4)	改善	D
37 (H27~R 元平均)				43 (R4)	改善	A	

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
	5-2-2	水質汚濁物質発生負荷量 COD	t / 日	22 (R 元)	22 (R4)	第9次水質総 量削減計画に おける目標値	A
	5-2-2	汚水処理人口普及率	%	78.8 (R 元)	81.9 (R5)	85.0	B
	5-2-3	公共用水域に係る環境基準達成率 【生活環境項目】 (河川 BOD) (海域 COD) 【再掲】	%	74 (H27~R 元平均)	60 (R4)	改善	D
				37 (H27~R 元平均)	43 (R4)	改善	A
	5-2-4	有害物質使用特定施設の年間立入検査 実施件数	件	1	9	12	A
	5-3-1	生活環境に係る苦情件数(騒音・振動・ 悪臭)	件	183 (H28~R2 平均)	216	減少	D
	5-3-2	ダイオキシン類の環境基準達成度合 【全項目(4 項目)について 100 をめざ す】	%	100 (R 元)	100 (R4)	100	A

※表中の数値は、特に記載の無い場合、当該年度または年度末の数値

香川県地球温暖化対策推進計画

概 要

香川県地球温暖化対策推進計画の概要

1 基本的事項

(1) 計画策定の趣旨

- 温室効果ガスの排出削減等を図る「緩和」策と気候変動への影響に対応する「適応」策を総合的かつ計画的に推進するために策定するもの

(2) 計画の位置づけ・性格

- 「香川県環境基本計画」の地球環境分野に関する個別計画
- 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」
- 気候変動適応法第12条に基づく「地域気候変動適応計画」

(3) 計画の期間

- 令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間

(4) 基本的な考え方

- 本県が掲げる「2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることをめざす」という目標における、令和7(2025)年度までの温室効果ガス排出量削減に向けた取組みを取りまとめる。
- 温室効果ガスの排出量を抑制する「緩和」策とともに、現在及び将来に生じる気候変動の影響に対して被害を回避・軽減する「適応」策に取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図るとともに、SDGsの目標達成にも貢献していく。

2 計画の目標

(1) 基本目標

「脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全」

(2) 温室効果ガス排出量の削減目標

- 令和7(2025)年度に平成25(2013)年度比で33%削減する。

(目標設定の考え方)

国の削減目標(2030年度に2013年度比46%減)に即して設定する。

国の温室効果ガス排出量の削減が、2030年度に向かって毎年一定割合で行われると仮定した場合、本県では、基準年度(2013年度)から目標年度(2025年度)までに33%の削減が必要となる。

3 施策体系

施策区分	施策の柱	施策展開	
大項目	中項目	小項目	
1 地球温暖化の防止を図るための対策（緩和策）	1-1 徹底した省エネルギーの推進	1-1-1 脱炭素に向けたライフスタイル・ワークスタイルの選択と定着の促進	
		1-1-2 省エネ型設備・機器等の導入促進	
		1-1-3 脱炭素に向けた“まちづくり”の推進	
	1-2 再生可能エネルギー等の導入促進	1-2-1 太陽光発電の導入促進	
		1-2-2 エネルギー源の多様化の促進	
	1-3 森林整備と都市緑化の推進	1-3-1 森林整備の推進	
		1-3-2 都市緑化の推進	
	1-4 CO ₂ 以外の温室効果ガス対策の推進	1-4-1 CO ₂ 以外の温室効果ガス対策の推進	
	2 地球温暖化による被害を回避・軽減するための対策（適応策）	2-1 気候変動適応センターの機能充実	2-1-1 気候変動適応センターの機能充実
		2-2 気候変動に適応した対策の推進	2-2-1 気候変動に適応した対策の推進

地球温暖化対策推進計画に掲げる指標【数値目標】一覧

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全	大項目	温室効果ガス削減率	%	▲15.8 (H29)	▲28.4 (R3)	▲33	A
	1-1-1	最終エネルギー消費量削減率	%	▲7.4 (H29)	▲21.2 (R3)	▲8.0	A
	1-1-1	一般廃棄物の一人一日当たり排出量	g	868 (R 元)	844 (R4)	810	B
	1-1-2	ZEH(新築)導入件数	件	708 (R 元)	1,152	1,600	B
	1-1-2	EV・PHV 普及台数	台	2,281	4,473	4,500	A
	1-1-3	エコ通勤優良事業所認証を受けた事業所数	箇所	6	1	56	D
	1-2-1	太陽光発電システム設置容量	kW	821,728	945,570	1,240,000	C
	1-2-2	FCV 普及台数	台	24	29	100	C
	1-3-1	森林整備面積（累計）	ha	4,536 (H28～R2 累計)	2,508 (R3～R5 累計)	5,000 (R3～R7 累計)	B
	1-3-2	公園・緑地面積	ha	1,838 (R 元)	1,845 (R4)	1,856	B
	2-1-1	県内の気候変動影響に関する情報提供件数	件	0	6	10	A
	2-2-1	県が実施する適応策の件数	件	7	8	10	B

※表中の数値は、特に記載の無い場合、当該年度または年度末の数値

香川県廃棄物処理計画

概 要

香川県廃棄物処理計画の概要

1 基本的事項

(1) 計画策定の趣旨

- 環境への負荷ができる限り低減される循環型社会の形成をめざして、本県の廃棄物政策を総合的かつ計画的に推進するために策定するもの。

(2) 計画の位置づけ

- 廃棄物処理法第5条の5に基づく計画
- 「香川県総合計画」の環境に関する分野別計画
- 「香川県環境基本計画」の資源循環分野に関する個別計画

(3) 計画の期間

- 令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(4) 基本的な考え方

- 環境への負荷をできる限り低減するため、引き続き、2R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース））にリサイクルを加えた3Rや、廃棄物の適正処理を推進する。
- 新たな課題となっているプラスチックごみ対策や食品ロスの削減、災害廃棄物処理体制の充実・強化に重点的に取り組む。
- 廃棄物処理計画に掲げる施策を実施することで、持続可能な循環型社会の形成をめざすとともに、SDGsの目標達成にも貢献していく。
- 新型コロナウイルスの影響による廃棄物の排出状況等の変化を的確に把握し、適切に対応する。

2 基本目標と施策区分

(1) 基本目標

環境への負荷を低減させる持続可能な循環型社会の形成

(2) 施策区分

施策区分	施策の柱
1 循環型社会づくりの推進	1-1 2R（リデュース、リユース）の推進
	1-2 リサイクルの推進
2 廃棄物の適正処理の推進	2-1 廃棄物の適正処理の推進
	2-2 災害廃棄物処理体制の充実・強化

3 施策体系

施策区分	施策の柱	施策展開
大項目	中項目	小項目
1 循環型社会づくりの 推進	1-1 2 R（リデュース、リユース）の推進	1-1-1 2 Rを意識した3 Rの普及啓発
		1-1-2 リデュースに向けた取組みの推進
		1-1-3 リユースに向けた取組みの推進
	1-2 リサイクルの推進	1-2-1 多様な主体によるリサイクルの促進
		1-2-2 各種リサイクル制度の円滑な推進・拡充
		1-2-3 循環産業の育成
		1-2-4 リサイクル製品の利用促進
	2 廃棄物の適正処理の 推進	2-1 廃棄物の適正処理の推進
2-1-2 監視指導体制の拡充・強化		
2-1-3 廃棄物の適正処理の推進		
2-1-4 不法投棄や野外焼却対策の強化		
2-1-5 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の推進		
2-2 災害廃棄物処理体制の充実・強化		2-2-1 大規模災害に備えた災害廃棄物処理体制の充実・強化

廃棄物処理計画に掲げる指標【数値目標】一覧

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
環境への負荷を低減させる持続可能な循環型社会の形成	基本目標	一般廃棄物の最終処分量	万 t	3.1(R 元)	2.6(R4)	2.6	A
	基本目標	産業廃棄物の最終処分量	万 t	17.2(R 元)	13.8(R4)	16.1	A
	1-1-1	かがわプラスチック・スマートショップ登録店舗数（累計）	店舗	新規	285	100	A
	1-1-2	一般廃棄物の総排出量	万 t	31.2(R 元)	29.5(R4)	28.0	B
	1-1-2	一般廃棄物の 1 人 1 日当たり排出量	g	868(R 元)	844(R4)	810	B
	1-1-2	産業廃棄物の総排出量	万 t	244.9(R 元)	249.3(R4)	244.0	D
	1-1-3	県政モニターアンケートで「リユース製品を積極的に利用している」と答えた人の割合	%	26.5 (R3.6 現在)	24.1 (R6.6 現在)	35.0	D
	1-2-1	一般廃棄物のリサイクル率	%	18.2(R 元)	19.3(R4)	24.0	C
	1-2-2 1-2-3	産業廃棄物のリサイクル率	%	71.0(R 元)	71.4(R4)	72.5	C
	1-2-4	県政モニターアンケートで「リサイクル製品を積極的に利用している」と答えた人の割合	%	33.3 (R3.6 現在)	24.6 (R6.6 現在)	42.0	D
	2-1-2 2-1-3	廃棄物不適正処理苦情件数	件	124	317	減少	D
	2-1-4	産業廃棄物不法投棄件数（10 トン以上）	件	0	0	0 件を継続	A
	2-2-1	災害廃棄物処理計画に風水害対策を加える見直しをした市町	市町	0	2	全市町	C

※表中の数値は、特に記載の無い場合、当該年度または年度末の数値

香川県みどりの基本計画

概 要

香川県みどりの基本計画の概要

1 基本的事項

(1) 計画策定の趣旨・位置付け

- みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例第6条に基づく緑化の推進とみどりの保全に関する基本的な計画
- 香川県環境基本条例に規定する自然環境の保全やみどりの創出等に関する分野の基本的な計画
- 「香川県総合計画」の基本方針に沿って作成する計画

(2) 計画の期間

- 令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(3) 計画の対象範囲

- 森林の保全、公共施設・民間施設の緑化、地域の緑地の保全、水辺のみどり・農地の保全等の分野を対象

(4) 基本的な考え方

- 地域のみどりづくりに関して長期的な視点を持って施策に取り組み、みどりを将来に引き継いでいく。
- 基本目標を前計画から引き継ぎ、みどりを取り巻く社会情勢の変化や県民の意向などを施策体系に反映させ、総合的かつ計画的に施策を推進していく。

2 基本目標と施策展開の基本方向

(1) 基本目標

「みんなで育て、活かす、みどり豊かな暮らしの創造」

(2) 施策展開の基本方向

- 基本目標に向けた緑化の推進とみどりの保全に関する施策展開の基本方向を3つに整理。
- 計画に掲げる施策を実施することにより、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を通じて地球温暖化の防止やSDGsの目標達成にも貢献していく。
- 新型コロナウイルスなど感染症のリスクを低減した社会経済活動の促進を図る。

基本目標	施策展開の基本方向
みんなで育て、活かす、みどり豊かな暮らしの創造	1 森林整備と森林資源循環利用の推進
	2 暮らしを支えるみどりの充実
	3 県民総参加のみどりづくり

3 施策体系

基本目標	施策区分	施策展開	
大項目	中項目	小項目	
1 森林整備と森林資源 循環利用の推進	1-1 県産木材の供給促進	1-1-1 森林整備の推進	
		1-1-2 路網整備等による効率的な作業システムの導入促進	
		1-1-3 施業の集約化の促進	
	1-2 県産木材の利用促進	1-2-1 県産木材の流通体制の整備	
		1-2-2 公共建築物・民間住宅等における県産木材利用の促進	
		1-2-3 県産木材の普及啓発	
	1-3 里山再生の推進	1-3-1 里山整備の推進	
		1-3-2 里山資源の利活用	
	1-4 森林・林業の担い手育成	1-4-1 林業後継者の確保・育成	
		1-4-2 担い手育成の促進	
	2 暮らしを支えるみどりの充実	2-1 暮らしを守るみどりの保護・保全	2-1-1 山地災害防止対策の推進
			2-1-2 保安林の適切な管理
2-1-3 適正なみどりの保全			
2-1-4 森林病虫害等防除対策の推進			
2-1-5 有害鳥獣対策と外来種対策の推進			
2-2 すぐれた自然の保護・保全		2-2-1 自然公園等の保護・利用	
		2-2-2 すぐれた風景や自然環境、良好な生活環境の保護・保全	
		2-2-3 自然記念物等の保護・保全	
		2-2-4 生物多様性の保全	
2-3 身近なみどりの整備・管理		2-3-1 公共施設の緑化の推進	
		2-3-2 民間施設等の緑化の促進	
		2-3-3 森林公園等の整備・管理	
3 県民総参加のみどりづくり		3-1 みどりづくりへの理解と参加の促進	3-1-1 みどりづくりの意識の高揚
			3-1-2 みどりを守り・育てる人材の育成
		3-2 県民参加のみどりづくりの推進	3-2-1 県民参加の森づくり活動の推進
	3-2-2 みどりを活かした地域づくり活動の推進		

みどりの基本計画に掲げる環境指標【数値目標】一覧

区分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
森林整備と 森林資源循環 利用の推進	1	県産認証木材の搬出量	m ³	10,230 (H28～R2 平均)	13,219	12,000	A
	1	森林整備と木材利用に関する認知度	%	47 (R3.6 現在)	44 (R6.6 現在)	60	D
	1-1-1	森林整備面積（累計）	ha	4,536 (H28～R2 累計)	2,508 (R3～R5 累計)	5,000 (R3～7 累計)	B
	1-1-2	林内路網延長	km	1,714	1,755	1,749	A
	1-1-3	林業経営者が作成した森林経営計画の 認定面積	ha	3,361	3,792	3,660	A
	1-2-1	県産認証木材取扱事業者数	事業者	35	30	42	D
	1-2-2	県産木材の県内での利用量	m ³	3,278 (H28～R2 平均)	3,249	3,900	D
	1-2-3	県産木材の認知度	%	40 (R3.6 現在)	43 (R6.6 現在)	50	B
	1-3-1	里山整備面積（累計）	ha	88 (H28～R2 累計)	69 (R3～R5 累計)	100 (R3～7 累計)	A
	1-3-2	里山資源の生産量	t	224 (H28～R2 平均)	226	260	C
	1-4-1	林業研究グループ、林業事業者への講 習会等実施回数	回	7 (H28～R2 平均)	10	10	A
	1-4-2	新規林業就業者数（累計）	人	59 (H28～R2 累計)	21 (R3～R5 累計)	50 (R3～7 累計)	B
	暮らしを支 えるみどりの 充実	2	公園・緑地面積	ha	1,838 (R 元)	1,845 (R4)	1,856 (R6)
2		みどりの豊かさ（森林・公園など）の 満足度	%	62 (R3.6 現在)	66 (R6.6 現在)	65	A
2-1-1		治山施設整備箇所数（累計）	箇所	56 (H28～R2 累計)	36 (R3～R5 累計)	75 (R3～7 累計)	B
2-1-2		保安林(国指定)の指定施業要件の見直 し未了件数	件	1,512	673	0	B
2-1-3		みどりの巡視員等による巡視延べ日数	日	600	600	600	A
2-1-4		ナラ枯れ拡大防止対策のための更新伐 の面積（累計）	ha	新規	13 (R3～R5 累計)	25 (R3～7 累計)	B
2-1-5		ニホンジカの年間捕獲頭数	頭	1,685 (H28～R2 平均)	1,454	1,500	A
2-2-1		県立自然公園野営場等の利用者数	千人	70 (H28～R2 累計)	43 (R3～R5 累計)	77 (R3～7 累計)	B
2-2-2		みどりの巡視員等による巡視延べ日数 【再掲】	日	600	600	600	A
2-2-3		自然記念物、天然記念物等の保護のた めの調査・支援（累計）	件	37 (H28～R2 累計)	51 (R3～R5 累計)	40 (R3～7 累計)	A
2-2-4		生物多様性に関する県民の認知度	%	37 (R3.6 現在)	38 (R6.6 現在)	50	C
2-3-1		緑化基準や緑化技術マニュアル等に基 づき緑化に取り組んでいる市町数	市町	0	5	全市町	C
2-3-2		街なか緑化推進事業の実施箇所数（累 計）	箇所	23 (H28～R2 累計)	13 (R4 で事業終了)	20 (R3～7 累計)	A

区 分	施策項目	環境指標	単位	【基準値】 R2 年度	R5 年度	【目標】 R7 年度	評価
	2-3-3	森林公園の入園者数（累計）	千人	2,821 (H28～R2 累計)	1,686 (R3～R5 累計)	2,960 (R3～7 累計)	B
県民総参加 のみどりづ くり	3	県民参加の森づくり参加者数（累計）	人	40,906 (H28～R2 累計)	21,314 (R3～R5 累計)	45,000 (R3～7 累計)	B
	3	森林ボランティア活動の関心度	%	61 (R3.6 現在)	58 (R6.6 現在)	65	D
	3-1-1	どんぐり銀行新規預金者数（累計）	人	5,668 (H28～R2 累計)	2,770 (R3～R5 累計)	6,000 (R3～7 累計)	B
	3-1-2	みどりづくり活動団体数	団体	30	36	35	A
	3-2-1	緑の少年団の団数	団	39	51	44	A
	3-2-2	みどりづくり活動団体数【再掲】	団体	30	36	35	A

※表中の数値は、特に記載の無い場合、当該年度または年度末の数値

(参考) 指標の評価方法について

A : 進捗率が60%以上 (概ね順調に推移)

B : 進捗率が30%以上、60%未満 (順調ではないが、一定程度進展)

C : 進捗率が0%を超え、30%未満 (順調ではないが、少し進展)

D : 進捗率が0%以下 (進展なし)

－ : 統計の調査年等の関係で評価ができないもの

【進捗率の計算方法】

実績値 (令和5年度) - 基準値 (令和2年度)

× 100

目標値 (令和7年度) - 基準値 (令和2年度)